

## 建設企業常任委員会議会報告

開催日時	平成30年 1月18日(木) 午後2時～午後3時30分	
開催場所	明石市役所 議会棟 2階 大会議室	
テーマ	高齢者の交通安全対策について	
出席議員	委員長	宮坂祐太
	司会者	辰巳浩司
	記録者	梅田宏希
	その他	家根谷敦子 穂原成人 遠藤恒司 出雲晶三(以上、建設企業常任委員会委員) 辻本達也(議会活性化推進委員会委員)
参加人数	20名	
傍聴人数	9名	
報告内容	<p>◎議会報告□明石市内の交通安全の取り組みについて</p> <p><b>報告者(穂原成人委員)</b> □明石市内の交通事故発生状況について</p> <p><b>報告者(遠藤恒司委員)</b> □第2次明石市交通安全計画について</p> <p><b>報告者(出雲晶三委員)</b> □高齢者運転免許自主返納推進事業について</p>	
主な意見・提言・要望と応答	<p>◎交通事業者の皆様による高齢者交通安全対策についての報告</p> <p><b>神姫バス株式会社明石営業所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一昨年12月明石駅前がリニューアルオープンしてから、明石駅のバスの乗降者数が一日約3万人となったが、その中でもご高齢の割合が増加していると感じている。</li> </ul> <p><b>(1) 道路横断するときの危険について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス運転手によると、横断歩道を斜めに渡るご高齢の方が非常に多い。横断歩道を渡る途中で、行きたい方向に逸れたり、斜めから横断歩道に侵入したりということが見受けられる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>バスも含め、車の運転手からしたら、斜め横断、特に斜め後方からの横断は、ミラーでも死角に入ってしまうので注意してもらいたい。</li> </ul> </li> <li>・ 高齢者が渡りきる前に赤信号になるケースもよく見受けられる。慎重な方は、点滅信号の時には横断歩道を諦めて、次の青信号になってから横断する方もいるので、そのように啓発してはどうか。</li> <li>・ 神姫バスでは、横断歩道上での事故を無くすため、左折するときは一時停止、右折するときはいつでも止まれる速度を徹底して指導している。状況によってはまだ守られていないところもあるが、危険な箇所では、いつでもブレーキを踏める体勢をとっている。</li> </ul>	

- ・ バス停付近でも、バスに乗るために反対車線側から左右の安全確認をせずバスだけを見て道路を渡ってくるケースがある。その時に、道路上で転んでいるという話も聞く。
- ・ 最も危険で、絶対やめていただきたいと思っていることは、バス停で前ドアから降りてから、バスの前を通過して反対側に渡ることだ。現にこの形ではねられたという事故もあった。自動車の運転手は、バス停に停車しているバスを追い抜きたいという心理が働き、アクセルを踏んでスピードを上げてくるため、事故が起こりやすい。特に夜間は、反射材の装着や明るめの服装をした方がよい。

## **(2) バス車内の転倒について**

- ・ バス会社としてはこの取り組みを一番重要視している。運転手は車外の状況以外に車内の乗客にも注意を払っているが、全国的にバス車内で高齢者の方が転倒して、骨折して病院に運ばれるといったケースが非常に増えてきている。国からもバスの人身事故の中で一番注意するべきとの指導を受けている。
- ・ 高齢のため、バスのステップのところでつまずいて、後ろにひっくり返って救急搬送のケースも増えてきている。
- ・ 足腰の悪い方が、バスの中でも極力迷惑をかけまいと、バスが停車する前に席を立って前に行くような動作がよく見られる。ゆっくり降車されたらいいと思う。
- ・ ご高齢の方は周りに気を遣うことなく、ゆっくり乗車したり、手すりを必ずつかんでいただいたりするようにお願いしている。
- ・ バスは発進するとき又は停車するとき転倒の危険がある。アクセルの最初、ブレーキの最後のところが一番G（重力加速度）がかかり転倒することが多い。
- ・ 偶然かどうか分からないが、転倒された方で、リュックサックを背負われている方は比較的怪我をされていないという傾向がある。後ろにひっくり返った時にちょうどクッションになって頭を打たなくてすんでいるのではないか。
- ・ バス車内における事故については、日々運転士に指導教育を行っており、確実に乗客の方が着席されるまでバスを発進させないことや、マイク案内でバスの車内事故についての注意喚起について徹底している。

## **(3) 認知症と思われる乗客について**

- ・ 最近、認知症と思われる方も見受けられる。バス車内で何度も行先を聞く、終点でも降りてくれない、自分が行こうとしている所をよく分かっていない、降りた後ずっとバス停で座っているなど見受けられる。

- ・ ドアの開くタイミングが少し遅かったりすると、ドアを叩くような方もいる。このあたりも含めて神姫バスのほうでも認知症の研修勉強会もやっていきたいと思っている。

## **明石地区タクシー協会**

### **(1) 高齢者の交通安全について**

- ・ 車の運転には、「慣れ」が大事で、タクシーの乗務員も、バスの運転手も普段から業務で乗車するが、一般、特に高齢者の場合は、日頃から運転しないことで、やはり事故が起こりやすくなるのではないかと。
- ・ 高齢者は体力が衰え、反射神経が鈍くなっていくが、本人はそのような認識がないことで事故につながりやすくなる。
- ・ 歩行者も、自分では一生懸命歩いているつもりだが、やはり動きが鈍く、道路を渡ろうと思っても思ったとおりにいかないようだ。
- ・ 高齢者が自動車を使わず、外にも出ないなら事故は起こらないが、それでは、高齢者の社会参画をうたっている現在の社会の要請にそぐわない。その辺りも議員には議論してもらいたい。
- ・ だれもが年をとるということを認識し、社会全体が心のゆとりを持って譲り合いながら安全な街にしていけばいいと思う。

## **明石市交通安全シルバーリーダー**

### **(1) シルバーリーダー結成の経緯について**

- ・ 平成23年にあかねが丘学園の授業の一環として、事故を軽減するための啓発活動に取り組むことになり、「チャリンコマナー30」というグループ名で、8名で立ち上げた。当初は手さぐり状態の活動だったが、交通安全課の助言もあり、まずは平成24年度から行われた交通安全についての講義を受講することとなった。
- ・ 県の交通安全協会で自転車のシュミレーションを体験したり、県警本部の施設見学を行ったりした。また、市や警察の指導のもと、駅周辺での啓発活動や、小学校や地域の公園での子ども対象の交通安全教室の補助的なお手伝いを行った。
- ・ 25年度に市民の交通安全意識の向上を図る目的で、明石市交通安全シルバーリーダー制度が導入された。そこで、チャリンコマナー30のメンバー8人と他に8名を加えた16名で市が行う研修に参加し、認定試験に合格してシルバーリーダーとしてスタートした。

### **(2) 現在のシルバーリーダーの活動について**

- ・ 現在は、体調不良等の理由により、9名が退会し、7名になっている。

- ・ 現在の活動内容は、市が主催する交通安全教室に参加し、主に高齢者を対象に自転車の安全利用、自転車の点検の仕方等の交通安全教育のお手伝いをしている。
- ・ 自転車の安全利用については、ガイドブックに基づいて、自転車は車両なので、原則車道を通行しようとか、歩道は歩行者優先なので、車側寄りを行こうとか、また二人乗り、携帯電話を使いながらの運転とか、お酒を飲んだ後の運転はルール違反になるのでやめようという話をしている。
- ・ 自転車の点検の仕方については、「ブタハシャベル」という語呂合わせを覚えると点検箇所が分かりやすいというようにお話をしている。すなわち、「ブ」はブレーキ、「タ」はタイヤ、「ハ」は反射材とかライト、「シャ」は車体・ハンドル・サドルとかペダル、「ベル」はベル。このような具合でしっかり点検して事故に気を付けてくださいというようにお話をしている。
- ・ また、小学校、中学校、高校等での自転車の実技訓練を手伝ったり、チラシ、啓発物等を駅周辺で市民に配布したりしている。

### **(3) シルバーリーダー活動の中で気づいたこと**

- ・ 交通安全教室に参加されている高齢者や、自転車の実技訓練に参加された児童、学生は、非常に真面目に話を聞いて、真剣に実技に取り組んでおり、受講後は、事故が起こらないように気を付けてくれると思っている。
- ・ 高齢者が事故にあう件数が非常に多いという話だが、定年退職された方は、一分一秒を争う必要はないので、慌てずゆとりを持って、自分は大丈夫だと思わず、過信せずに交通ルールを守って事故に合わないよう気を付けてほしい。

#### **◎意見交換**

##### **明石市高年クラブ連合会**

- ・ 高校生の交通マナーが非常に悪く、朝夕の登下校時の自転車のスピードが相当速い。また、歩道いっぱい広がって歩いており、高齢者の通行の妨げになっている。

##### **宮坂委員長**

- ・ 高校生の交通マナーの話に関連するが、2月17日に明石清水高等学校と明石商業高等学校の生徒を招いて、高校生議会というイベントを初の試みとして行う。その中で、明石清水高等学校の生徒から、高校生の

目線からの自転車のマナーを含めた交通事故を減らすための提案を受ける予定になっているので報告しておく。

### **交通安全協会**

- ・ 交通安全協会では、金賞部会、婦人部会の方々がボランティアという形で活動してもらっている。
- ・ このような仕事をするようになって、啓発のティッシュ配りに対して頑張ってくださいという気持ちで受けとるようになった。皆さんも見かけたら、感謝の言葉をかけてもらいたい。
- ・ 私自身も、70過ぎで健康だった母親を交通事故で亡くした経験があり、もっといろいろと話を聞いておくべきだったと後悔している。
- ・ 私は、明石市民だけは事故を起こさないように頑張ろうと思っているが、金賞部会、婦人部会の皆さんも、何も言わず、何時でも来てくれるが、こうゆうつながりを一人でも多く増やしたいと思いながら頑張っている。

### **明石警察署**

- ・ 平成29年中の明石警察管内では、人身事故の件数、物損事故の件数、死者数、負傷者数、の全てが減少しているが、重傷者数は増加している。
- ・ 明石管内の事故の特徴は、道路横断中に歩行者が車両と衝突する人身事故が県下で一番多いということ。
- ・ 高齢者の関係する事故というのは、事故を起こす第一当事者、また事故を受ける第二当事者、この両方を含めて高齢者の関係する事故は、11月末現在で全人身事故の32.4%を占める。また、死亡事故については、昨年死者4名の方のうち2名が高齢者という状況。
- ・ 交通安全協会、シルバーリーダー、高年クラブ、明石市と一緒にいろいろな交通安全教育をしている。その中の一つとして、高齢者に対し、歩行者教育システムというものを使用し、実際にプロジェクターに道路を横断する映像を映し出して、どれぐらい危険を予知できるかを体験してもらったり、自動車運転シュミレーターを使用してもらったりして、参加、体験、実践型の交通安全講習をやっている。
- ・ 様々なクラブに入っていない方など、交通安全教育を受ける機会が少ない方のために、高齢者の多い、例えば魚の棚、大久保のイオン等の商店や、主要駅周辺で、こちらから出向いて交通安全教育、交通安全指導、交通講習等を行っている。

- ・ 管内の企業、事業所から交通安全教育の申し入れがあった際には、早めのライト点灯、ハイビームの適切な使用等について説明し、高齢者を守るための広報啓発活動を行っている。
- ・ 交通安全推進協議会で行っている運転免許証自主返納の促進を継続し、事故防止について取り組みたいと思っている。

#### **交通安全協会**

- ・ 実際、運転免許証を返納するという事は、協会の会員が減ることにつながる。しかし、交通安全教育に関しては、運転免許を持っている方が、持っていまいが、交通ルールの適用があるはずなので、運転免許証がなくても協会に入りたい方は入ってもらいたいと考えている。
- ・ 運転免許証がなくても協会員になればいいし、運転免許証がなくても交通ルールは守らないといけないので、高齢になり、もう運転技能が低下し、人を傷つけるかもしれないと思った時には運転免許証を返納してもらおう方がいいと考えている。

#### **梅田委員**

- ・ 皆さんからいただいた高校生のマナーや、高齢者の運転マナーについてのご意見について、建設企業常任委員会の中で、行政としての取り組みを求めていきたい。また先ほどから出てるように、道路の安全対策についても考えていかなければいけない。

#### **交通安全協会**

- ・ 信号のない横断歩道で人が待っていたら、自動車は一旦止まるというルールを遵守してもらいたい。

#### **シルバーリーダー**

- ・ 右側通行する自転車がが多く、自動車と対面通行になってしまうことがある。自転車の左側通行を遵守してもらいたい。
- ・ 夜間、特に夕暮れ時にライトをつけていないドライバーが多いので、早めのライト点灯をしてもらいたい。
- ・ 交通法規上、70歳以上になると自転車で歩道を走っても構わなくなるが、高齢の方でも早い速度で通行されているので、歩行者には気を付けてほしい。
- ・ 自転車保険にできれば入ってもらいたい。

### 交通安全協会

- ・ 自転車保険については、神戸の交通安全協会が推奨していたものがあるので、私はそれを推奨している。
- ・ 自動車の交通ルール遵守の件は、教習所で言っていないといけないので、教習所の校長や先生に教え方などを伝えていきたい。

### 出雲委員

- ・ 自分も、信号のない横断歩道で横断したい歩行者を見かけたときに必ず停まっているかという、必ずしもできていないことがある。だから、そうした啓発運動は有効だと思う。
- ・ 通学中の子どもや、バギーカーを押してる人を見かけたら停まるようにしているが、停まっていない人も多い。これについても啓発運動が有効だと思う。
- ・ 運転免許証自主返納制度について、65歳以上の人が返さないといけないとなると、ドライバーが高齢化しているタクシー業界は大変だと思うので、その辺りも考えてやってもらいたい。

### 高年クラブ連合会

- ・ オレンジキャップ活動に参加しており、朝の通勤時間帯に児童の横断のために車に停まってもらうことがよくあるが、それでも突っ込んでくる車があり危険な思いをすることがある。
- ・ オレンジキャップ活動に参加してくれる方の年齢が高齢化しているほか、人数も少なくなっているなので、各自治会でふやしてほしい。

### 穂原委員

- ・ 本市では、視覚的にドライバーに訴えることで、児童の通行の安全を守るため、学校周辺の道路をグリーンに舗装するなどの取り組みを行っている。
- ・ 市内の道路が狭く、歩道も切り下げのためにでこぼこしているところが多いため、改善するために市民の皆さんからも要望の声を上げてもらえたらと思う。

### 高年クラブ連合会

- ・ 健脚な者でもつまづくことがあるので、道路の管理もしっかりと行ってもらいたい。

**明石警察署**

- ・ さきほど話のあった、信号機のない横断歩道で人が待っているときの自動車の交通ルールについては、今も変わっておらず、一時停車しなくてはならない。また、その停車している自動車の横を二輪車が追い抜いて行くことも違反となる。
- ・ 今年に入ってから昨日までで、交通事故により8名の方が亡くなっているが、そのうち6名の方が道路横断中、さらに2名の方が横断歩道の横断中の事故で亡くなっている。そこで1月15日に非常事態として県下の6ブロックすべて、そのうち東播ブロックでは明石の大蔵海岸で、歩行者妨害の特別警戒発隊式を行った。歩行者妨害の取り締まり、啓発については、まさに現在行っている真っ最中ということ報告させてもらおう。

明石市議会議長 三 好 宏 様

平成30年1月18日

上記のとおり報告します。

建設企業常任委員長 宮 坂 祐 太